

国立病院 函館病院

腹部膨満感外来を開設

機能性消化管疾患に特化

国立病院機構函館病院 膨満などの症状が慢性的に（加藤元嗣院長）は1日から、新たな専門外来「胃もたれ・腹部膨満感外来」を開設した。専門医が着任し、外来診療に対応するとともに、ニーズの増加に伴い既存の便秘外来を増設する。

診療は日本消化器病学会 消化器病専門医の水島健医師が担当する。胸やけや胃痛、胃もたれ、腹痛、腹部

膨満などの症状が慢性的に続く機能性消化管疾患に特化した専門外来で、症状を聞いた上で適切な内視鏡検査や超音波検査などを行う。

便秘外来は昨年5月に開設。便秘などで悩む外来患者が増加しているため、診療曜日を拡大する。水島医師は「ささいな症状でも気軽に来ていただき、手助

けができれば」と話している。いずれも受け付けは午後1時から同3時半。予約不要。問い合わせは同院（0138

膨満感外来が毎週木曜、便秘外来は毎週火、金曜。い
・51・6281）へ。
（木村京子）



胃もたれ・腹部膨満感外来を担当する水島医師